

令和5年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

1 事業概要

令和5年度は、事業拡充計画の最終年度となったが、既存事業の拡大や新規事業の実施など、予算規模を拡大し事業の充実を図った。また、令和6年3月に設立50周年を迎えることから、設立から現在までのあゆみを記念誌としてまとめるとともに、50周年関連事業を行い、改めて公益法人としての役割や使命を再認識する1年となった。

県民の保健及び医療の向上と福祉の増進を目的とする4つの公益事業については、県や関係団体との連携を図りながら効率的な事業の実施に努めた。資産運用については、金融市場において株価の高騰や為替の円安傾向がさらに進むなど大きな変化があったが、予算額に対し実績額が99.5%となる運用益を確保することが出来た。

健康づくり運動普及啓発事業（公益1）では、沖縄県の健康課題となっている働き盛り世代における生活習慣病予防に関連した事業として、勤労者の健康推進事業を拡充し、職場における健康づくりに取り組んだ。また、生涯を通じた健康づくりとして、子どもや若年層の頃からの健康教育が重要であることから、楽しく学べる講習会や体験型イベントを開催したほか、健康情報誌と連動したWEBサイトやSNS等を活用し、幅広く情報発信を行った。また、職場や地域における健康づくりの推進として、健康づくりに取り組む市町村や団体への助成を継続して実施し、県民の健康づくりの普及啓発を図った。

臓器移植普及推進事業（公益2）では、沖縄県と委託契約を締結し、臓器移植コーディネーター2名を配置した。あっせん業務に関して、令和5年度のドナー情報数は、前年度より増加し、コロナ渦に減少していた傾向は改善されている。また、関係機関の定期訪問や、移植情報担当者を研修等へ派遣し、移植医療機関の体制整備及び人材育成事業を行った。普及啓発事業としては、テレビ等メディアを活用したプロモーション事業を行い、臓器提供意思表示の促進を図った。また、（公財）沖縄県アイバンク協会に対し献眼情報の際の支援を行ったほか、県内移植検査体制（HLA）に関連した課題については、県及び関係機関と連携し対応を行った。

ファミリーハウス事業（公益3）では、離島や遠方から本島の医療機関で治療を受ける子どもや付き添い家族の経済的な負担軽減を図り、心身ともに安らぐことのできる宿泊施設「がじゅまるの家」の運営を委託し、県民の医療と福祉の向上に努めた。令和5年度の施設の稼働率及び利用人数については、ともに前年度を上回る実績となった。また、開所より15年を経過し、外壁の修繕等が必要となっていたため、外壁塗装・防水工事を行い建物の長寿命化を図った。

勤労者福祉事業（公益4）では、公募により就労困難者の雇用に対する支援を行う団体に対し助成事業を行い、雇用に関する相談及び指導等により職業能力を高め、雇用の機会の提供及び人材育成を図り、労働者福祉の向上に取り組んだ。

収益事業においては、所有する建物及び敷地内から湧出する温泉については、計画的に修繕や定期メンテナンスを行い、各契約に基づき引き続き安定した収益を得ている。

2 事業実績

(1) 健康づくり運動普及啓発事業

ア 健康づくりイベントの開催

(ア) 健康づくり講演会の開催

「運動」をテーマに沖縄県の課題である運動不足を解消し、運動を習慣化させるなど、県民の行動変容につなげることを目的に講演会を開催した。

- ・日 時：令和5年11月23日(木・祝)14:00~16:00
- ・場 所：アイムユニバースてだこホール(大ホール)
- ・講 師：なかやまきんに君氏(お笑い芸人・ボディビルダー)
- ・テーマ：笑顔で汗をかこう！沖縄中の体脂肪を燃やします！！
- ・参加者：760人

(イ) 県民健康フェア2023の開催

県民の健康づくりに関する意識の向上と取り組みを促すことを目的に、沖縄県医療保険連合(なごみ会17団体)と連携したイベントを開催した。

- ・日 時：令和5年10月1日(日)
- ・場 所：沖縄コンベンションセンター(展示棟)
- ・参加者：800人

(ウ) 調理実習の開催

地域に根差した健康づくりの視点から、減塩・郷土料理の伝承・生活習慣病予防メニュー等をテーマに体験型食育(調理実習)を沖縄県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、名護市ほか11市町村で計19回実施した。

- ・期間：令和5年7月~令和6年2月(参加者：計327人)

(エ) 体験型栄養教育システム活用事業

県内各地における食育イベント及び講習会等において、実物大のフードモデルを用いた体験型栄養教育システムを活用し、県民の食習慣の見直しと望ましい食生活の実践を促すことを目的に、「食育SATシステム(備品)」を(公社)沖縄県栄養士会に貸借し、効率的な運用を図った。(令和2年度に備品使用貸借契約を締結。)

[活用実績] 件数19件、講習会等参加者数1,276人

(オ) 若年層向け食育講習会

働き盛り世代の生活習慣病予防とヘルスリテラシーの向上を目的とし、今後就職や進学を迎える若年層(中高校生)を対象に、食育SATシステムを利用して体験型食育講習会を開催した。

① 浦添市立仲西中学校

- ・令和5年6月21日(水)[3年生5クラス、133人]
- ・令和5年10月25日(水)[3年生4クラス、112人]

② 浦添工業高等学校

- ・令和5年11月6日(月)[1年生1クラス、26人]
- ・令和5年11月8日(水)[1年生1クラス、33人]
- ・令和5年11月10日(金)[1年生2クラス、62人]

③ 前原高等学校

- ・令和5年12月12日(火)[3年生1クラス、13人]

(カ) 子供の体力低下対策イベントの開催

運動・スポーツに対する苦手意識の払拭と動くことの楽しさを実感してもらい、将来の運動習慣の定着につなげていくことを目的に、県内の子供を対象としたスポーツ運動イベント『こどもスポーツフェスティバル2023』を開催した。

- ・日 時：令和5年12月17日(日)10:00~18:00

- ・場 所：A g r e ドーム北谷
- ・内 容：こども体力測定や運動教室体験、AR 技術を使った最新スポーツ、参加型ステージ等
- ・参加者：2,923 人

イ 健康づくり情報の提供

(ア) メディアミックス型情報発信事業

健康情報誌「kenko ISLAND」を年3回（8月、11月、2月）で各号23,000部発行し、県内公的機関、医療機関、金融関係、事業所へ配布した。また、県内コンビニ（セブンイレブン）、タウンプラザかねひで、モノレール各駅及び、イベント等での配布を行った。また、配布場所にマークをつけた地図をWEB上に掲載し、より多くの人に届けることで幅広い世代の読者層の獲得を図った。各号でプレゼント応募の際に、アンケートを実施しているが、その結果（2月号/総数495件）は以下のとおりである。

・本誌を手にとった場所はどこか？	1位 セブンイレブン 約33% 2位 職場 16% 3位 かねひで 10%
・男女別	男性22.4% 女性77.6%
・年代別	1位 30代 (27.1%) 2位 40代 (26.5%) 3位 50代 (23.6%) 4位 20代 (12.7%)

情報誌の発行に加え、専用ウェブサイト（www.islandweb.okinawa）及び各種SNS（Instagram、X）、動画配信サイト（YouTube）等の複数メディアを組み合わせることで、若年層を中心とする働き盛り世代に向けた効率的な健康づくり情報の発信に努めた。SNSにおいては、キャンペーンの他、琉球ゴールデンキングス試合へのブース出展およびキングスコラボグッズによりフォロワー数を増やし、より多くの方に情報発信することができた。

令和6年3月末時点のSNSフォロワー数は以下のとおりとなった。

X（旧Twitter） 2,599（対前年度比248.7%）

Instagram 3,476（対前年度比414.3%）

YouTube 149（対前年度比136.7%）

令和5年度の「kenko ISLAND」各号の特集テーマは以下のとおりである。

Vol.65（8月号） 守りたい！大切な歯

Vol.66（11月号） ストレッチでカラダメンテナンス

Vol.67（2月号） 骨力強化 & 歪みを整える骨活のススメ

(イ) 健康情報発信（ホームページ）

事業団ホームページにおいて、イベント案内や企画コンペ、助成金の公募情報掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

ウ 保険者との連携事業（全国健康保険協会沖縄支部）

(ア) メンタルヘルスセミナーの開催

職場内におけるメンタルヘルス不調を未然に防止することを目的に、専門講師を派遣し、セミナーを開催した。

- ・講師：平山 雄也（こころとからだ つながるクリニック院長）
- ・令和6年3月19日(火)15:00～16:30 参加者：32人
会場：株式会社オー・イー・エス
- ・令和6年3月22日(金)15:00～16:30 参加者：9人
会場：ナイス沖縄株式会社

(イ) 受動喫煙防止促進・禁煙への動機づけ支援事業

事業所や薬剤師のサポートを受けながら禁煙に取り組むことで、卒煙率を高めるとともに、参加事業者の作業環境の変化による受動喫煙防止の促進を図る。

- ・参加事業所数：18社
- ・参加者：69人
- ・卒煙率：24.6%（令和6年3月時点）

エ 勤労者健康推進事業

(ア) 職場の健康力アップ推進事業（沖縄県との共同事業）

県内企業に対し健康経営の普及推進を目的に、企業の健康づくりを企画、立案から実施までワンストップで支援していく事業を実施するため、企画提案コンペによって選定された（一社）トータルウェルネスプロジェクトオキナワに運営を委託した。当事業では、各企業が抱える職場の健康問題を改善するための取組みを支援し、活用した企業は30社（従業員1,717人）、参加延べ人数は702人であった。企業からの要望により多く実施された支援メニューは、①フィットネス ②味覚講座 ③メンタルヘルス対策となっている。その他には、経済団体・関係団体への情報伝達、各種メディアからの情報発信、健康づくりに関する各種制度の周知や利用促進等の普及啓発を行った。

- ・実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日
- ・委託額：9,761,000円（うち当事業団負担額4,000,000円）

(イ) ラジオ体操の普及啓発事業

沖縄県民の運動不足解消を目的に、県内企業の働き盛り世代を対象とした「本気のラジオ体操」の普及啓発並びに定着化を図った。

[普及啓発]

- ・テレビCMの放映（出演：パッション屋良、放映期間：令和6年2月29日～令和6年3月14日、放映本数60本）
- ・うちなー健康経営宣言事業所（1,640か所）へのパンフレットの配布
- ・LPサイトの設置

[定着化支援]

県内企業5社を対象に、正しい動作で行う本気のラジオ体操の定着化支援を行った。参加者282人中、201人が3月末時点で実施継続中。（定着率71%）

(ウ) 高血圧症対策啓発事業

Kenko ISLAND 67号で沖縄県医師会に監修を依頼し、高血圧関連記事を掲載した。また、健康づくり講演会にて、沖縄県医師会の協力として血圧測定ブースを設置し、参加者の血圧測定を行った。

オ 助成事業

(ア) 市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の10分の7（限度額40万円）の助成を行った。

令和5年度は、13市町村への助成を行った。助成総額：3,497,000円

	市町村名	助成対象事業	開催日	事業内容
1	北谷町教育委員会	令和5年度第39回北谷町民トリムマラソン	1/21 (日)	町民の「体力づくり」「健康づくり」を目的にトリムマラソンを開催した。北谷町屋内運動場を発着点の2コース(2km・4km)を設定。申告タイムと実際のタイムが近い方から各コース5人、最高齢者男女各1人を表彰・激励し、町の健康増進に寄与した。参加者/391人
2	浦添市	浦添市健康づくり協力店認証制度	5月～ 2月	市内で営業している弁当・惣菜販売店、スーパーマーケット等の市販弁当を対象に、栄養バランスの良い食事や塩分控えめ、野菜を多く取り入れるなどの健康的なメニューの提供や、市から健康情報の普及啓発に協力いただける店舗を協力店として認証した。登録店舗数/2店舗
3	宜野座村	宜野座村健康づくり事業	4月～ 2月	健康ウィークのイベントを実施した。住民が気軽に参加し、ウォーキング、ラジオ体操で住民のふれあいを通して、運動を継続する楽しさを参加者みんなで共有し、運動を生活習慣として取り入れ、「自分の健康は自分でつくる」という意識づけを図った。参加者/474人
4	北中城村	沖縄生まれのスポーツメンコデングリーを活用した健康づくり・地域づくり・まち(交流)づくり	7月～ 10月	昭和遊びの「メンコ」を進化させたスポーツデングリーを通して、体力向上、ストレス解消、世代間交流などから地域住民の健康増進を図った。また「遊びながら考える」「スポーツ」の2つの要素を併せ持ち、世代交流を通してフレイル予防にも繋がる。参加者/約140人
5	那覇市	職場におけるメンタルヘルスクエア研修	9月～ 12月	講師を招いて4回コースのワークショップ形式の研修会を市内の事業所を対象に開催した。コミュニケーションについての基礎理解だけでなく、ストレスの理解及びその対処法などをメンタルヘルス対策に通じた内容を実施した。参加者/20人
6	宜野湾市	アプリで歩こう！はごろもウォーク2023	11/1～ 11/30	健康アプリ「オーロラ」を活用したウォーキングイベントを1か月間開催した。同時に週1回健康情報発信や食事、睡眠時間等の生活記録機能を紹介し、自身の健康管理に役立ててもらった。参加者/405人
7	伊是名村	第16回伊是名村健康フェア	11/23(木・祝)及び 1/22(月)	健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画の一体的策定を子供から大人まで多くの村民が「健康づくり」「食育」「こころの健康」に関心を持つ機会となるよう「運動」「食育」健康度チェック・指導を実施した。参加者/283人
8	西原町	西原町健康づくりボランティア養成事業	7月～ 2月	地域住民の健康づくりを積極的に推進するボランティアの養成を実施した。食生活改善推進員養成講座の内容は、町の現状・課題、栄養の基礎、たばこ・アルコール・休養・運動、食品衛生、食と環境、災害時の食など。新規参加者/1人
9	嘉手納町	嘉手納町食育事業	9/6 (水)	町内のジュニアアスリートに携わる保護者や指導者を対象にスポーツ栄養学に関する講座を開催した。小中学生だけでなく幅広い世代へ健康づくりの意識向上及び行動変容を促す。参加者/21人
10	沖縄市	食育推進事業	5月～ 2月	子どもの頃からの「食」と「健康」の大切さを市民に考えてもらうため、ライフステージに応じた料理(食育)教室を開催した。内容は、キッズクッキング教室、親子料理教室、自炊促進教室、郷土料理教室、ヘルスサポーター教室。参加者/740人
11	久米島町	運動・栄養・たばこストレス等に関する健康教室等の開催事業	10月～ 12月	年齢を問わず誰でも参加できるハワイアンフラを通して、町民全世代の運動習慣の定着を図りながら、健康づくりに繋げるため、「ハワイアンフラのワークショップ」を4回開催した。参加者/95人
12	うるま市	第8回うるま市健康づくり推進大会(健康フェスタ)	11/11 (日)	市民が健康づくりに取り組む契機とするための健康フェスタを実施した。内容は、食育SAT体験、ベジチェック・食育関係展示、妊婦体操、各種パネル展示、動作法体験、塩分味覚チェック体験、歯科健診、講演会、ストレッチ体験など。参加者/1,303人

13	読谷村	よみたんそん健康まつり	10/7 (土)	健康づくりについて村民への啓発と健康意識向上を図ることを目的に、健康チェックコーナー等(ベジチェック、血管年齢測定、栄養バランスチェック、健康相談、健康講話、村内スポーツジム等の紹介)、その他健康レシピ紹介・弁当等の販売等(※売り上げは業者収入)を行った。参加者/約 200 人
----	-----	-------------	-------------	---

(イ) 健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業経費の 10 分の 9 (限度額 30 万円) の助成を行った。令和 5 年度は、7 団体への助成を決定した。助成総額：1,890,000 円

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	北中城村 観光協会	E スポーツによる健康 事業	11/5 (日)	介護施設や病院のリハビリにも活用されており、今回、コロナ禍の中、新たなスポーツの形として老若男女が同じフィールドで競う事の出来る e スポーツによる健康イベントを開催した。参加者/計 57 人 会場/スタジオキタナカ
2	沖縄県 女性連合会	女性の健康づくり 「ナプちゃんの日」	7/2 (日)	生理の尊厳、生理の貧困、生理の負担を社会へ周知し理解を深め、女性が心身ともに健康的な社会を送ることができるよう支援することを目的に、生理用品の配布と専門医による女性の健康問題の相談を行った。来場者/約 1,000 人 会場/琉球新報
3	日本健康運 動指導士会 沖縄県支部	県民への健康運動啓発 のためのポスター作成 事業	6 月～ 2 月	県民へ健康を維持するためにも意欲的に運動・スポーツに取り組める内容のポスター (QR コードを読み込み、動画を視聴してもらう) を作成し、運動習慣を日常化する機会を構築した。
4	沖縄県 医師会	県民公開講座・県民健 康フォーラム	11/11 (土)	県民の健康啓発活動の一環として、65 歳未満の健康状態の改善が喫緊の課題となっているため、働き盛り世代の健康保持増進をテーマに医師による講演を開催した。参加者/160 人 会場/沖縄県医師会館
5	南城市 健康づくり 推進員連絡 協議会	南城市地域住民主体型 の健康づくり共創の場 の形成へ向けたアトラ クションプラン	7 月～ 2 月	南城市民及び県民を対象にした住民参加型健康づくりを展開し、健康講演会・健康づくりワークショップの開催、ビーチクリーン活動、ウォーキング大会等を行った。参加者/266 人
6	沖縄県 看護協会	禁煙支援者研修会	12/8 (金)	禁煙支援研修会を開催し、喫煙対策に関する国の動向や最新の知見等を学ぶことで支援者のスキルアップを図った。参加者数/86 人 (オンライン参加含む) 会場/沖縄県看護研修センター
7	沖縄県 ウォーキン グ協会	親子で学ぶウォーキン グセミナーの開催	2/24 (土)	親子を対象とした健康増進を啓発するためのウォーキング運動の小冊子を作成し、県内幼稚園保育園へ配布した。作成された冊子に基づき、幼少児の成長発達に有効な運動方法を学べる講習会を開催した。参加者/24 人 会場/大山公民館

(2) 臓器移植普及推進事業

臓器の移植に関する法律が施行されて 25 年以上経過するが、思ったような臓器提供者 (ドナー) の増加はなく、未だ移植を受けられるのは希望する人の 2 % 程と課題は多く残っている。

本県における透析患者数は、人口 100 万人あたりの患者数で全国上位に位置し、令和 5 年 12 月末では 238 人の方が献腎移植希望の登録を行い移植が受けられるのを心待ちにしている。令和 3 年に琉球大学病院は、県内で初めて膵臓移植施設として認定され、現在は肝移植施設としての認定も目指しており、県内で可能な移植手術は腎臓に加えて膵臓・肝臓と広がりを見せている。一方、献腎移植等に必要となる組織適合性 (HLA) 検査施設の閉鎖等の課題に関しては、引き続き県及び関係機関との調整状況を把握しながら、対応を検討していく。

本県におけるドナー情報は、新型コロナウイルス感染症の流行期では減少したが、令和5年度においては回復傾向にあり、得られた情報の内1件が心停止下提供に繋がった。医療機関に対する体制整備においては、関係医療機関（特に臓器提供施設連携体制構築事業関連施設）との協働を活発化させ支援に努め、県民に対する普及啓発事業においても、様々な取り組みを行い臓器提供意思表示の促進を図った。

ア 臓器移植連絡調整者設置事業（県からの受託事業）

臓器移植連絡調整者（臓器移植コーディネーター）を2名配置し、日本臓器移植ネットワークと協働しながら、関係医療機関との連携に努めた。

(ア) 臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

令和5年度の本県におけるドナー情報数は19件（前年度10件）で、内1件が心停止後提供となり、2名の患者へ腎移植された。また県外からの腎提供があり、1名の患者に移植が行われた。

数字：県内実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報数	1	0	3	2	3	0	0	1	2	3	0	4	19
提供数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腎移植数	0	0	0	2	0	0	0	1※	0	0	0	0	3
膵移植数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※県外ドナーからの提供による移植

(イ) 臓器移植推進委員会の開催（計2回）

臓器移植の専門的立場からの指導助言を受け、正しく臓器移植医療の普及啓発を図るため、専門医による推進委員会を開催した。

<第1回>令和5年12月11日(月)18:30~20:00 オンライン開催

<第2回>令和6年3月1日(金)19:30~21:00 事業団会議室

(ウ) 臓器移植コーディネーターの教育並びに適切かつ円滑に業務が遂行できるよう日本臓器移植ネットワークが開催する研修会及び日本移植学会等の関連学会への参加を行った。

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

(ア) 病院啓発

臓器提供施設連携体制構築事業（日本臓器移植ネットワーク助成事業）における拠点施設（那覇市立病院）と協働し、関連病院での講演会及び勉強会の開催に努めた。また、行政や警察等の関係機関への訪問も行き連携強化を図った。

(イ) 沖縄県移植情報担当者会議の開催（計3回）

<第1回>令和5年7月13日(木)14:00~16:00 オンライン開催

参加者：43人（13施設）

内 容：○報告 アイバンク活動報告

藤芳亜希子（沖縄県アイバンク協会）

○報告 臓器提供の現状について

仲間貴享（沖縄県臓器移植コーディネーター）

○講演 長崎みなとメディカルセンターでの取り組み

中山直美（長崎みなとメディカルセンター）

○講演 入院時重症患者対応メディエーターの役割と症例報告

片岡倫美（長崎みなとメディカルセンター）

<第2回>令和5年11月29日(水)14:00~16:00

会 場：沖縄県三重城合同庁舎 3階研修室

参加者：32人（13施設）

内 容：○報告 臓器提供の現状について

勝連知治（沖縄県臓器移植コーディネーター）

○症例報告 当院における心停止後臓器提供

宮里典子、安里徳明（中部徳洲会病院）

○講演 メディエーターの役割と症例報告

平井理心（筑波大学附属病院）

<第3回>令和6年3月8日（金）14:00～16:00

会 場：沖縄県三重城合同庁舎 5階研修室

参加者：43人（14施設）

内 容：○報告 臓器提供の現状について

仲間貴享（沖縄県臓器移植コーディネーター）

○報告 スペイン TPM2023 研修参加報告

上原圭太（那覇市立病院）、山内素直（友愛医療センター）

○報告 2023 臓器提供施設連携体制構築事業活動について

豊見山直樹（那覇市立病院）

○基調講演 臓器移植医療推進に向けた取り組み

吉川美喜子（厚生労働省移植医療推進室）

(ウ) 研修会・学会等への派遣

① 第59回日本移植学会（令和5年9月21日～23日）

派遣者：院内コーディネーター1名（那覇市立病院）

② 第57回日本臨床腎移植学会（令和6年2月14日～16日）

派遣者：院内コーディネーター3名（中部徳洲会病院）

(エ) 移植医療セミナー（TPM）への派遣

・派遣先：スペインバルセロナ（令和5年11月6日～10日）

派遣者：医師2名 上原圭太（那覇市立病院）、山内素直（友愛医療センター）

(オ) 医療機関グリーンライトアップ事業

下記の医療機関において点灯式及びグリーンライトアップを実施し、当該医療機関の活動促進及びメディアを活用した県民へのPRを行った。

・開催場所：友愛医療センター、那覇市立病院

・点灯期間：令和5年12月21日～25日

※上記（ア）、（イ）の事業については、日本臓器移植ネットワークの2023年度都道府県支援事業費助成金を活用し実施した。

ウ 県民への普及啓発事業

(ア) 臓器提供意思表示カードの配布及び所持・意思表示欄への記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置や健康保険証・自動車免許証等への記載推進について普及啓発を行った。

・市町村、関係機関等へ意思表示カードの補充を行った。

・普及促進グッズとしてオリジナルレポート用紙を作成し配布した

・SNS広告として普及啓発YouTube動画再生促進を図った。

・コミュニティラジオ局と連携した意思表示促進事業を行った。

連 携 局：FMよみたん、FMやんばる、FMとよみ、FMみやこ 計4局

期 間：令和5年9月～10月

事業内容：20秒スポットCM（400本）、番組出演（4回）、週刊ほ～むぷら
ざの紙面掲載（2回）

(イ) 臓器移植普及推進月間（10月）行事の開催

毎年10月に開催している「臓器移植普及推進月間行事」を沖縄県及び関係団体等と連携し実施した。

・臓器移植を知るシンポジウム 2023

キャッチフレーズ：『意思表示』あなたの選択 だれかの未来

開催日時：令和5年10月21日(土)14:00～16:00

開催場所：沖縄県立図書館3階ホール

参加者：86人

内容：○移植体験者発表 角膜移植を受けられた方からのお手紙、献眼者ご家族からのお手紙、腎移植を受けられた方の発表

○基調講演 ～救急医から伝えたい、意思表示のこと～

浦添総合病院 救急医 那須道高

○パネルディスカッション ～護得久先生と一緒に考える臓器移植～

(ウ) 移植医療推進に向けた作品展等の開催

グリーンリボン沖縄 Instagram オフィシャルアカウントにて、県外キャラクターと連携した、ぬりえコンテスト及びYouTube 動画再生を促すキャンペーン、キャッチフレーズ募集を行い応募頂いた作品等を活用しパネル展を開催した。

・県立図書館：令和5年10月4日～10月30日

・県立中部病院：令和5年11月14日～12月22日

(エ) 出張講座の開催

・沖縄県立看護大学：令和5年5月25日(木)、6月15日(木)、7月6日(木)

・沖縄大学：令和5年10月19日(木)

(オ) 音楽を活用した臓器移植プロモーション事業

県内で活躍するアーティストのキヨサク氏（モンゴル800）が音楽プロデュースした楽曲を使用したオリジナルドラマ「あなたのこと」及びテレビCM等を制作し、放送した。

[オリジナルドラマ]

放送局：QAB琉球朝日放送

放送日：令和5年10月29日(日)10時55分～11時50分

※QAB オフィシャルWEBサイト「Quebee キュエビー」にて見逃し配信を行った。配信期間：令和5年10月30日～令和6年3月31日

[テレビCM]

内容：15秒スポットCM／2タイプ（医師編・コーディネーター編）

期間：令和5年10月16日～10月29日（計50回）

エ 助成事業

(ア) 組織適合性検査等助成

献腎移植登録可能施設（友愛医療センター、沖縄県立中部病院）で、組織適合性検査を受けた臓器移植希望者23人に対して、一人2万円の助成を行った。

尚、令和5年度末まで県内検査が延長されたことにより、予算を確保していた検査以外に係る費用への助成は無かった。

(イ) 臓器移植関係団体への助成

広く県民に臓器移植が正しく理解されることを目的に、県内において臓器移植の普及啓発活動を実施している下記の2団体に対し10万円を上限に助成を行った。

（一社）沖縄県腎臓病協議会、（公財）沖縄県アイバンク協会

(ウ) 香料支給

臓器提供者及びそのご家族への感謝の意を表し、臓器摘出手術が県内で行われた場合に、1件に対し3万円を支給した。

支給件数：1件

オ 賛助会員募集事業（1口：3万円）

賛助会員加入の協力を、県内の医療機関及び企業団体等に呼びかけたところ、28団体から28口、84万円の会費収入があった。

カ 献眼業務支援

（公財）沖縄県アイバンク協会より要望のあった献眼業務支援について、9件のサポートを行った。

キ 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となった事業

- （ア）臓器移植推進委員会（7月開催）
- （イ）臓器提供に関する調査（5施設）
- （ウ）街頭キャンペーン（臓器移植普及推進月間行事）

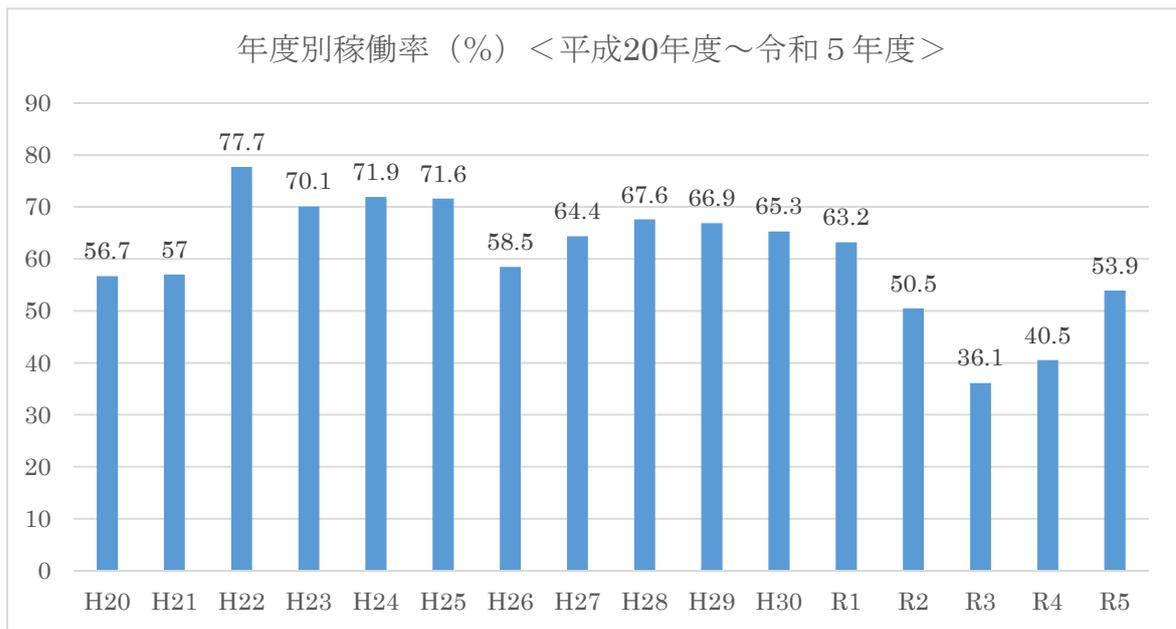
（3）ファミリーハウス事業

離島など遠隔地から「南部医療センター・こども医療センター」等に、入院または通院する子どもや付き添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営を認定NPO法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。また、施設においては、利用者が快適に過ごせるよう環境整備に努めた。ファミリーハウス事業について広く県民に周知するため、当事業団発行の健康情報誌「kenko ISLAND」誌面にて紹介記事（GAJUMARU PRESS）を掲載した。

ア 令和5年度の施設稼働率及び利用者数等の実績

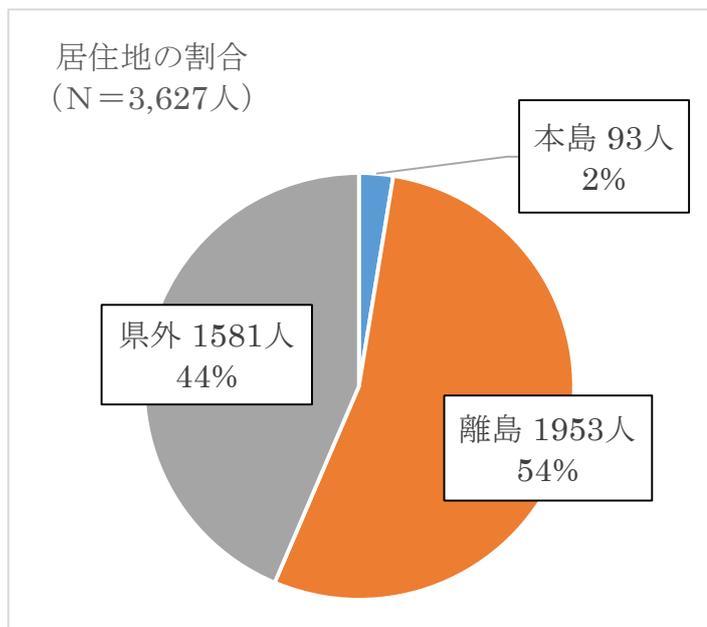
ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況（令和5年4月～令和6年3月）

月	営業日数	利用室数	稼働率	延べ利用者数(人)				
				沖縄県内			県外	合計
				本島	離島	計		
4	30	87	29.00%	19	67	86	69	155
5	31	125	40.30%	2	87	89	119	208
6	30	147	49.00%	1	160	161	115	276
7	31	125	40.30%	0	177	177	26	203
8	31	196	63.20%	2	273	275	101	376
9	30	168	56.00%	3	122	125	156	281
10	31	197	63.60%	0	191	191	188	379
11	30	148	49.30%	6	150	156	106	262
12	31	186	60.00%	1	168	169	149	318
1	31	213	68.70%	11	161	172	181	353
2	29	159	54.80%	29	144	173	116	289
3	31	225	72.60%	19	253	272	255	527
計	366	1,976	53.90%	93	1,953	2,046	1,581	3,627



都道府県別延べ利用者数及び割合

都道府県	人数	割合
沖縄県	2,046	56.4%
鹿児島県	841	23.2%
栃木県	308	8.5%
神奈川県	95	2.6%
大阪府	58	1.6%
滋賀県	52	1.4%
青森県	40	1.1%
三重県	38	1.0%
東京都	34	0.9%
兵庫県	29	0.8%
福岡県	28	0.8%
熊本県	16	0.4%
岩手県	12	0.3%
宮城県	6	0.2%
京都府	5	0.1%
高知県	4	0.1%
広島県	4	0.1%
愛知県	2	0.1%
国外	9	0.2%
合計	3,627	100.0%



沖縄県内居住地別延べ利用者数

(単位:人)

R5年度	沖縄本島							沖縄県 離島								合計
	名護	本部	糸満	今帰仁	宜野湾	沖縄	与那原	久高	座間味	久米島	宮古	石垣	粟国	伊江	伊是名	
4月		8		11					4	8	37	7	8	3		86
5月	2										45	23		19		89
6月		1							2	14	77	54	4	9		161
7月									16		106	21		34		177
8月		2								18	123	118		14		275
9月					3				2	8	43	26		43		125
10月										4	62	84	4	37		191
11月						6		18	2	24	70	29		7		156
12月				1						50	80	26	8		4	169
1月						11				15	103	39		2	2	172
2月	1					10	18			16	99	24		5		173
3月			12			7		12	12	3	169	33	16	8		272
合計	3	11	12	12	3	34	18	30	38	160	1,014	484	40	181	6	2,046
	93							1,953								

イ 利便性向上事業（建築設備改修整備事業）

施設設立から15年が経過し、外壁にひび割れや雨漏りが発生していたことから、外壁の補修及び塗装、防水工事を実施し、施設建物の長寿命化を図った。

(4) 勤労者福祉事業（就労支援事業）

県内において就労困難者に対する就労支援事業を行う団体に対し、その事業費を公募により募集し、助成を行った。就労支援においては、長期離職者など現在の状況から就労に時間を要する方、生活や心の問題を抱えている方なども多いことから、効果的な支援に繋げるため、就労の継続及び生活自立に向けた支援機関との連携など総合的支援が求められている。助成額1,800万円。

- 1 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会
- 2 助成対象事業：沖縄県労福協 就労サポートセンター事業
- 3 実施期間：令和5年4月～令和6年3月
- 4 事業内容：

(ア) 就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導

a セミナー及び訓練

- ライフリテラシーセミナー＜計17回、参加者106人＞

b 中間的就労の場の提供

- フードバンク活動への参加＜計20回、参加者32人＞
- 地域自治会と連携した美化活動＜計1回、参加者11人＞

c 相談会

- トータルビューティーフェア&生活支援相談会＜計1回、参加者17人＞
- 外国人のためのお仕事相談会＜計1回、参加者9人＞

(イ) 就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供

a 無料職業紹介事業

- 「就労困難者」にマッチングした求人開拓（新規登録企業数6社）
＜新規求職申込者4人、採用決定者2人＞

b 働く人のためのガイドブックの制作＜11,000冊＞

(ウ) 資格取得、技術または技能の習得等職業能力を高める事業

- リスキリングセミナー<計 14 回、参加者 87 人>
- (エ) その他就労支援のために必要な事業
 - a キャリア教育(夢&未来そうぞうプロジェクト・ライフリテラシーセミナー)
<計 14 回、参加者 264 人>
 - b 働く仲間のゆめ・みらい基金(「働く」につなげる支援)に係る連携支援
連携機関：市町村、県内社会福祉協議会、県内就労支援関係団体等
 - c 県内支援員研修<計 5 回、参加者 62 人>

沖縄県労福協 就労サポートセンター実績(令和5年度)

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規人数	1	3	5	45	9	24	11	68	32	106	156	66	526
延べ利用回数	24	23	22	82	21	59	37	123	108	124	215	89	927
就職者数	2	1	1	4	0	2	5	1	2	1	2	5	26

※グッジョブセンターおきなわ内実施支援・セミナーで対応した数値(出張セミナー及び共催セミナー含む)

(5) 現有資産の活用

事業団が所有する施設を民間フィットネス事業者の(株)フィットネスプロモーション及び(公財)沖縄県アイバンク協会へ定期賃貸借契約により貸し付けた。(株)フィットネスプロモーションが運営する「ジスタス浦添」の令和5年度施設利用者の延べ人数は、約 555,000 人となっており、県民の健康増進に活用された。土地については、発電設備設置の土地(152.08 m²)を(株)シントーへ貸し付けた。敷地内から湧出する温泉は、動力装置により汲み上げ、温泉施設(ジスタス浦添及び浦添の湯)へ供給を行った。

(6) 特定資産活用による拡充事業計画

拡充計画(平成30年度～令和5年度)による事業実施は最終年度となり、予算額 51,273,000 円に対し、決算額は 51,132,156 円(執行率 99.73%)となり、事業拡充資産として積み立てた総額 2 億円を計画年度内に満額執行することができた。

	事業名	実施内容
総務	安全対策施設整備強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数が経過した職員用パソコンの取り換え及びウェブ会議用の備品、防災用品等を購入し、利便性及び安全性の向上を図った。 ・事務所内照明器具の取り換え並びに建具等の修繕により職場環境を整備した。
健康づくり	団体等連携型事業	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に関する事業として、県栄養士会との連携事業を行った。 ※P 2 ア(オ)参照 ・保険者との連携事業として、協会けんぽとの連携事業を行った。 ※P 3～4 ウ(ア)、(イ)参照
	健康課題解決型支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の体力低下対策イベント『こどもスポーツフェスティバル 2023』を開催した。※P 2～3 ア(カ)参照
	勤労者健康推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県健康長寿課との共同事業として、企業に対する健康経営の普及推進に関する事業を実施した。※P 4 エ(ア)参照 ・ラジオ体操の普及啓発事業を実施し、職場における運動機会の創出及び定着化支援を図った。※P 4 エ(イ)参照

臓器移植	テレビ番組活用型啓発事業	・グリーンリボン（臓器移植）を推進するオリジナルドラマ及びテレビCM等を制作し、テレビ及びウェブでの配信を行った。※P 9 ウ（オ）参照
	臓器移植普及啓発イベント事業	・県内2医療機関において、移植医療のシンボルカラーであるグリーンライトアップ事業を行った。※P 8 イ（オ）参照
FH	建築設備改修整備事業	・施設外壁の補修及び塗装、防水工事を実施し、施設の長寿命化を図った。※P 12 イ参照

事業拡充計画資産（特定資産）の活用による拡充事業計画表

【平成30年度から令和5年度まで】 予算総額2億円

事業名(中科目)	事業名(小科目)	事業予算(円)		
		平成30年度から令和4年度まで(実績額)	令和5年度(決算額)	合計
(1) 経営業務効率化推進事業	① 経営管理システム導入事業	3,891,360	0	3,891,360
	② 安全対策施設整備強化事業	25,964,652	3,894,800	29,859,452
(2) 健康づくり強化推進事業	① 団体等連携型事業	21,696,455	1,493,230	23,189,685
	② 健康課題解決型支援事業	45,529,853	9,635,811	55,165,664
	③ 勤労者健康推進事業	14,521,558	12,400,000	26,921,558
(3) 臓器移植普及促進人材育成事業	① 移植医療セミナー(TPM)追加派遣事業	993,189	0	993,189
	② 学会等派遣事業	962,530	0	962,530
(4) 臓器移植普及啓発促進事業	① 臓器移植普及啓発イベント事業	952,600	4,000,000	4,952,600
	② テレビ番組活用型啓発事業	8,500,000	9,570,000	18,070,000
(5) ファミリーハウス利便性向上事業	① 建築設備改修整備事業	6,365,800	10,138,315	16,504,115
	② 看板設置事業	0	0	0
	③ 宿泊予約システム構築事業	1,132,920	0	1,132,920
	④ 施設紹介動画制作事業	0	0	0
(6) 人件費	① 嘱託職員人件費	18,356,927	0	18,356,927
合計額		148,867,844	51,132,156	200,000,000

(7) 特定資産活用による周年事業計画

事業団の設立50周年を記念し、記念誌及び動画の制作並びに広報ツールの制作、記念イベントの開催を行い、事業団の歴史の継承、認知度向上、並びに社内外のコ

コミュニケーションの促進を図った。

(ア) 記念誌及び動画の制作（記念誌 300 部、動画 DVD 5 枚）

(イ) 広報ツール制作

a ノベルティ 3 種（付箋 5,000 個、レジかごバック 2,000 個、ペットボトルホルダー 1,000 個）

b ブース装飾セット（バックパネル、テーブルクロス、椅子カバー、のぼり、スタンドパネル、スタッフジャンパー）

(ウ) 記念イベントの開催

沖縄を本拠地に活躍するプロバスケットボールチーム『琉球ゴールデンキングス』とタイアップした記念イベントを実施した。同チームのホームゲームが開催される沖縄アリーナ内でのブース出展を通じて事業団事業の情報発信を行い、事業団の運営する各種 SNS フォロワー数の増加を図った。

[開催日時] 第 1 回 令和 5 年 10 月 25 日(水) 17:00~20:00

第 2 回 令和 5 年 12 月 9 日(土) 16:00~19:00

第 3 回 令和 6 年 2 月 10 日(土) 16:00~19:00

[開催場所] 沖縄アリーナ 2階メインエントランス

[出展内容]

- ・抽選会の実施（キングスコラボグッズ及び事業団ノベルティを配布）
- ・健康情報誌『kenko Island』（Vol.66 を 2,000 部増刷）及び各種リーフレットの配布
- ・グリーンリボンプロモーション映像の放映

[SNS フォロワー数の増加実績]

SNS	第 1 回	第 2 回	第 3 回	合計
Instagram 『kenko Island』	218	1,308	215	1,741
Instagram 『グリーンリボン沖縄』	431	100	100	631
X (旧Twitter) 『kenko Island』			613	613
合計	649	1,408	928	2,985

周年事業積立計画資産（特定資産）の活用による周年事業計画表

【平成 30 年度から令和 6 年度まで】 予算総額 3,000 万円

事業名(中科目)	事業名(小科目)	事業予算			合計
		平成30年度から 令和4年度まで (実績額)	令和5年度 (決算額)	令和6年度 (予算額)	
設立45周年記念事業	①広報力強化事業	5,628,318	0	0	5,628,318
設立50周年記念事業	①記念イベント等開催関連事業		10,306,500	3,581,430	13,887,930
ファミリーハウス 10周年記念事業	①シンポジウム開催事業	2,995,043			2,995,043
	②植栽整備事業	1,686,000			1,686,000
人件費	①嘱託職員人件費	0	2,812,801	3,000,000	5,812,801
合計額		10,309,361	13,119,301	6,581,430	30,010,092

(8) 資金運用

日米の金利差拡大と好調な米国経済を背景に、令和5年度は歴史的な水準で円安が進行し、日経平均株価もバブル期並みに上昇する結果となった。事業団の資産運用については、実績額が160,760,493円となり、対前年度比で5,206,457円の減少、予算額に対しては699,507円の減少となったが、2.21%の運用利回りを確保し、ほぼ予算額どおりの運用収入を得ることができた。また、期限前償還となった債券の後継債券については、リスク管理を行いながら株価及び為替参照型の円建て外債を購入した。

令和5年度資金運用益及び利回り（令和4年度との比較）

運用種類	令和5年度				令和4年度				対前年度増減	
	運用額 (千円)	構成比 (%)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	構成比 (%)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)
基本財産	3,505,000	48.28%	51,546	1.47%	3,505,000	48.61%	60,193	1.72%	0	△ 8,647
特定資産	3,755,000	51.72%	109,214	2.91%	3,705,000	51.39%	105,773	2.85%	50,000	3,441
計	7,260,000	100.00%	160,760	2.21%	7,210,000	100.00%	165,966	2.30%	50,000	△ 5,206

3 業務経過（令和5年度）

月日	主要事項
4月1日	令和5年度第1回臨時評議員会（書面によるみなし決議）
〃	令和5年度第1回理事会（書面によるみなし決議）
〃	ファミリーハウス運営委託契約の締結（こども医療支援わらびの会）
〃	臓器移植連絡調整者設置事業受託（沖縄県）
6日	臓器移植普及啓発活動団体助成事業公募開始
10日	ラジオ体操の普及啓発事業公募開始（5/11迄）
12日	メディアミックス型健康情報発信事業公募開始（5/12迄）
28日	市町村及び団体助成事業公募開始（5/31迄）
5月8日	就労支援事業公募開始（5/31迄）
25日	「沖縄県の働き盛り世代の健康づくりの推進に向けた包括的連携協定」に関する相互協力・連携に関する覚書締結（全国健康保険協会沖縄支部）
〃	臓器移植に関する出張講座の開催（沖縄県立看護大学）6/15、7/6計3回
26日	禁煙への動機づけ支援事業契約の締結（協会けんぽ・県薬剤師会）
30日	令和4年度事業報告及び決算に係る監事による監査実施
6月5日	臓器移植推進事業賛助会員募集開始
7日	令和5年度第2回理事会
8日	子供の体力低下対策イベント事業公募開始（7/13迄）
21日	若年層向け食育講習会（浦添市立仲西中学校5クラス前半）
26日	市町村及び団体助成事業二次応募受付開始（7/20迄）
30日	令和5年度定時評議員会
〃	令和5年度第3回理事会（書面によるみなし決議）
7月1日	食育活動調理実習の開催（12市町村にて計19回開催、R6.2/23迄）
10日	Instagramキャンペーン むりえコンテスト作品募集開始（8/13迄）
13日	第1回沖縄県移植情報担当者会議開催
21日	健康づくり講演会公募開始（8/9迄）

8月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.65」の発行（発行部数23,000部）
4日	職場の健康力アップ推進事業開始（県共同事業R6.3.29迄）
9月1日	コミュニティラジオ局との連携したラジオスポットCM（9月～10月）
21日	研修会等派遣事業（日本移植学会、9/23迄）
10月1日	第10回県民健康フェア2023開催（なごみ会との共催事業）
4日	沖縄グリーンリボンアート展開催（県立図書館：10/30迄）
16日	グリーンリボンプロモーション事業テレビCM放送（10/29迄）
19日	臓器移植に関する出張講座の開催（沖縄大学）
21日	臓器移植を知るシンポジウムの開催（県立図書館）
25日	若年層向け食育講習会（浦添市立仲西中学校4クラス後半）
〃	第1回設立50周年記念イベント（沖縄アリーナ）
29日	グリーンリボンプロモーション事業オリジナルドラマ放送（QAB朝日放送）
11月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.66」発行（発行部数23,000部）
2日	設立50周年記念事業業務委託契約締結
6日	若年層向け食育講習会（県立浦添工業高等学校4クラス3日間8、10日）
〃	移植医療セミナー（TPM）への派遣～10日迄
14日	沖縄グリーンリボンアート展開催（県立中部病院：～12/22迄）
17日	設立50周年記念誌企画「新旧役職員による座談会」（事業団会議室）
23日	健康づくり講演会（アイムユニバースてだこ大ホール）
29日	第2回沖縄県移植情報担当者会議開催
12月9日	第2回設立50周年記念イベント（沖縄アリーナ）
11日	第1回臓器移植推進委員会開催
12日	若年層向け食育講習会（県立前原高等学校1クラス）
13日	ファミリーハウス運営委員会の開催（がじゅまるの家）
17日	子供の体力低下対策イベント「こどもスポーツフェスティバル2023」開催
18日	令和5年度第4回理事会（書面によるみなし決議）
21日	グリーンライトアップ事業点灯（友愛医療センター・那覇市立病院）～25日迄
1月22日	ファミリーハウス工事公募開始（外壁補修・塗装・防水工事）
2月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.67」発行（発行部数23,000部）
6日	令和5年度第2回臨時評議員会（書面によるみなし決議）
10日	第3回設立50周年記念イベント（沖縄アリーナ）
14日	研修会等派遣事業（日本臨床腎移植学会）～16日迄
20日	ファミリーハウス外壁補修及び塗装、防水工事請負契約締結（3/31迄）
29日	ラジオ体操の普及啓発事業CM放映（3/14迄）
3月1日	第2回臓器移植推進委員会開催
8日	第3回沖縄県移植情報担当者会議開催
19日	メンタルヘルスセミナー（株式会社オー・イー・エス）
22日	メンタルヘルスセミナー（ナイス沖縄株式会社）
25日	令和5年度第5回理事会
31日	設立50周年記念誌発刊（発行部数300部）

4 評議員会決議事項

(1) 令和5年度第1回臨時評議員会 みなし決議（令和5年4月1日）

議案番号	議案	結果
第1号	理事の選任について	議決

(2) 令和5年度定時評議員会 (令和5年6月30日)

議案番号	議案	結果
第1号	令和4年度決算について	議決
第2号	役員報酬等の改定について	議決
第3号	役員の任期満了に伴う次期役員の選任について	議決

(3) 令和5年度第2回臨時評議員会 みなし決議 (令和6年2月6日)

議案番号	議案	結果
第1号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

5 理事会決議事項

(1) 令和5年度第1回理事会 みなし決議 (令和5年4月1日)

議案番号	議案	結果
第1号	専務理事の選定について	議決
第2号	事務局長の任命について	議決

(2) 令和5年度第2回理事会 (令和5年6月7日)

議案番号	議案	結果
第1号	令和4年度事業報告について	議決
第2号	令和4年度決算について	議決
第3号	利益相反取引管理規程について	議決
第4号	東盛理事の利益相反に関連する取引(助成金交付)について	議決
第5号	與那覇理事の利益相反に関連する取引(助成金交付)について	議決
第6号	村濱理事の利益相反に関連する取引(委託契約)について	議決
第7号	村濱理事の利益相反に関連する取引(備品使用貸借契約)について	議決
第8号	理事長の利益相反に関連する取引(助成金交付)について	議決
第9号	理事長の利益相反に関連する取引(負担金拠出)について	議決
第10号	役員の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦について	議決
第11号	令和5年度定時評議員会について	議決

(3) 令和5年度第3回理事会 みなし決議 (令和5年6月30日)

議案番号	議案	結果
第1号	理事長の選定について	議決
第2号	専務理事の選定について	議決
第3号	専務理事に事務局長の職務を委嘱する件について	議決

(4) 令和5年度第4回理事会 (令和5年12月18日)

議案番号	議案	結果
第1号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	議決
第2号	令和5年度第2回臨時評議員会の招集について	議決
第3号	特定資産(広報活動強化事業積立資産)の計上について	議決

(5) 令和5年度第5回理事会 (令和6年3月25日)

議案番号	議案	結果
第1号	令和6年度事業計画書について	議決
第2号	令和6年度収支予算書について	議決
第3号	令和6年度資金調達及び設備投資の見込みについて	議決
第4号	村濱理事の利益相反に関連する取引について	議決
第5号	理事長の利益相反に関連する取引について	議決
第6号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	議決
第7号	令和6年度第1回臨時評議員会の招集について	議決

6 評議員に関する事項

(1) 評議員

ア 現況(令和6年3月31日)

氏名	任期	備考
石原 朝子	令和3年7月11日～令和7年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生副委員長
田端 一雄	〃	沖縄県経営者協会専務理事
新城 光雄	令和4年4月1日～令和7年度定時評議員会	沖縄県保健医療部保健衛生統括監
上間 初美	令和4年6月22日～令和7年度定時評議員会	沖縄県女性連合会副会長
宮里 達也	令和4年9月14日～令和7年度定時評議員会	沖縄県医師会副会長
笠原 寛子	〃	沖縄県栄養士会副会長
知花 優	令和6年2月6日～令和7年度定時評議員会	連合沖縄事務局長

イ 異動状況

発令日	職名	氏名	異動別	備考
令和5年7月21日	評議員	砂川 安弘	辞任	新任 連合沖縄事務局長
令和6年2月6日	評議員	知花 優	選任	
令和6年3月31日	評議員	新城 光雄	辞任	

7 役員等に関する事項

(1) 役員

ア 現況（令和6年3月31日）

職名	氏名	任期	備考
理事長	安里 哲好	令和5年6月30日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県医師会会長
専務理事	儀間 秀樹	〃	沖縄県保健医療福祉事業団
理事	末松 文信	令和5年6月30日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生委員長
理事	金城 克也	〃	沖縄県経営者協会会長
理事	與那覇 信子	〃	沖縄県女性連合会会長
理事	村濱 千賀子	〃	沖縄県栄養士会会長
理事	糸数 公	〃	沖縄県保健医療部部長
理事	砂川 健	〃	沖縄県商工労働部産業雇用統括監
理事	仲宗根 哲	令和6年2月6日～ 令和7年度定時評議員会	連合沖縄会長
監事	有銘 寛之	令和5年6月30日～ 令和7年度定時評議員会	公認会計士
監事	城間 雄一郎	〃	税理士

イ 異動状況

発令日	職名	氏名	異動別	備考
令和5年4月1日	理事	儀間 秀樹	選任	新任 沖縄県保健医療福祉事業団専務理事
令和5年6月25日	理事	東盛 政行	辞任	
令和5年6月30日	理事	安里 哲好	選任	再任
〃 〃	理事	儀間 秀樹	選任	再任
〃 〃	理事	末松 文信	選任	再任
〃 〃	理事	金城 克也	選任	再任
〃 〃	理事	與那覇 信子	選任	再任
〃 〃	理事	村濱 千賀子	選任	再任
〃 〃	理事	糸数 公	選任	再任
〃 〃	理事	砂川 健	選任	再任
〃 〃	監事	有銘 寛之	選任	再任
〃 〃	監事	波平 正	退任	任期満了
〃 〃	監事	城間 雄一郎	選任	新任 税理士
令和6年2月6日	理事	仲宗根 哲	選任	新任 連合沖縄会長
令和6年3月31日	理事	儀間 秀樹	辞任	

(2) 職員

ア 現況 (令和6年3月31日)

職種	人数	備考
副参事	1	課長兼務
課長	1 ※	
主査	4	再任用1名、臓器移植コーディネーター2名含む
主任	3	
主事	1	
嘱託員	2	
合計	11人(2)	()は嘱託員で内数、※は兼務で合計数に含まず

イ 異動状況 (職員) 異動なし

【事業報告の付属明細書】

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。